

令和4年度 高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[34] 秋田とドイツの 「まちづくり」国際比較	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 講師 寺迫 剛 (計1名)
授業概要	外旭川地区開発に向けたイオンとの協定締結など、今まさに岐路に差し掛かっている秋田市の「多核集約型コンパクトシティ」の現状と将来の見通しについて、ドイツの中規模都市ハレ市等と比較しながら考えましょう。		
授業方法と留意点	授業を実施するカレッジプラザのある明德館ビル（2005年竣工）を含め、2010年代まで中心市街地の再開発に取り組んできた秋田市は、2021年に市政推進の礎となる「第14次秋田市総合計画」、「第7次総合都市計画」、「第2期秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の同年策定と市長選挙を経て、岐路に差し掛かっています。その現場の現状と見通しについて、ドイツのザクセン・アンハルト州ハレ市などとのグローバルな比較の視点も加えつつ、ライブ感のある授業を実施します。		
授 業 計 画			
【募集定員人数5名】先着順で募集を締め切ります			
＜11月2日（水）17：30～19：00＞			
第1講：「コンパクトシティとしての現状と課題」 そもそもコンパクトシティ（政策）とは何か？から始め、秋田市の計画や戦略を概観しつつ、その現状について認識しましょう。その際、比較の視点として、ドイツのハレ市についても紹介します。			
＜11月9日（水）17：30～19：00＞			
第2講：「コンパクトシティとしての将来の見通し」 「多核集約型コンパクトシティ」を標榜する秋田市での「まち・ひと・くらし」の将来像について、ハレ市のSWH（シティワーク・ハレ）やHAVAG（ハレ公共交通公社）等の市政・行政の事例も参考にしつつ、検討しましょう。			
その他			
テキスト	レジュメを配布あるいは、Zoom等で各自のデジタルデバイスに共有します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目			
開講日時	11/2（水）	11/9（水）	
	17：30～19：00		
会場	カレッジプラザ（秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階）		
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1336（平日9：00～17：00） E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail: terasako@nau.ac.jp		